

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度補正予算分)
(施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンススガケフクシカイ
法人名	社会福祉法人すずかけ福祉会
フリガナ	ススガケホーム
事業所名	すずかけホーム
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
グループホーム	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育児・休職は除く)】	
6.2 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) セキスイ wells リフトキャリー(WLC-200)(1機)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	25 件	300 件	30 分	300 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援	2 人	15 件	180 件	15 分	90 人時間	23 時間
	3 生活自立支援(※1)	1 人	30 件	360 件	5 分	30 人時間	30 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	5 その他の直接介護	1 人	30 件	360 件	5 分	30 人時間	30 時間
間接業務	6 巡回・移動	1 人	30 件	360 件	10 分	60 人時間	60 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	1 人	30 件	360 件	30 分	180 人時間	180 時間
	8 見守り機器の使用・確認	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	9 その他の間接業務	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
			160 件	1,920 件	95 分	690 人時間	398 時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

対象利用者 1名 入浴等移乗週当たり5回×5週=25件 排泄介助週3回×5週=15件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

上記内容の実時間数の平均

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	1 人	25 件	300 件	15 分	75 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援	1 人	15 件	180 件	10 分	30 人時間	30 時間
	3 生活自立支援(※1)	1 人	30 件	360 件	5 分	30 人時間	30 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	5 その他の直接介護	1 人	30 件	360 件	5 分	30 人時間	30 時間
間接業務	6 巡回・移動	1 人	30 件	360 件	10 分	60 人時間	60 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	1 人	30 件	360 件	30 分	180 人時間	180 時間
	8 見守り機器の使用・確認	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	9 その他の間接業務	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
			160 件	1,920 件	75 分	405 人時間	405 時間

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

対象利用者	1名	入浴等移乗週当たり5回×5週＝25件	排泄介助週3回×5週＝15件
-------	----	--------------------	----------------

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

上記内容の実時間数の平均

年間業務時間数想定削減率(%)

41.3%

(3) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

利用者の安全で安心できる環境の確保のため、入浴や排泄にかかる支援を複数人で実施していたが、今回の機器の導入により、単独の職員での対応に切り替えることができたものによる。

(4) ロボット機器等の導入により得られた効果

- ・障害の進行による身体の変形や拘縮から従来実施していたスリングシートによるリフト入浴が時には苦痛をとまなうため、職員が手で持ち上げての入浴となりつつあった。このため利用者には転落等の恐れも出て精神的な不安を持たせる状況もあった。導入の機器は着座姿勢のまま入浴を実施できるため前出の苦痛や不安もなく、快適な入浴を提供できる様になったと考える。
- ・機械の導入で単独の職員が、肉体的な負担も少ない状況で支援ができており職員側の負担軽減につながったと思う。

(5) 今後の課題

- ・機器の導入から期日がないので、費用面での効果については検証ができていない。利用者の状況を注視しつつ検証を行いたい。
- ・この機械を他の生活場面でも有効に利用することで、より快適な生活を提供できると思われるため、生活動線へ有効的な活用方法の検討を進めていく。

(6) 気づき等について

利用者の障害状況の進行に伴い、「安全に入浴を実施する」ことばかりに気持ちが先行し、支援者側に余裕もなく、ただ、「風呂に入る」だけになってしまっていた。利用者にとって気持ちのいい入浴となっていたのかは疑問である。導入後は「安全を確保する」は変わらないが「利用者と会話をしながらコミュニケーションをとる」という余裕もできるようになってきたことから利用者も職員もゆったりと過ごせる環境となったと感じる。ゆったりと支援ができる環境の整備は、結果的により質の高い支援につながれると思われる。

(7) 費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。